

○事業所名	サニーフレンズ平島		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い有資格者の配置をしているため、特性に合わせた支援ができる。	アセスメントをもとに、特性や発達に合わせて専門的支援計画を作成し、特性に合わせたカリキュラムの作成や楽しみながら行える課題の提供をしている。	隣接する他事業所との連携を図り個々の特性や発達段階の情報を共有することで広い視野をもって支援する。
2	室内には音楽を楽しめるスペースがある。(キーボードとドラム) ピアノ経験のあるスタッフによる即興の演奏も可能で、音楽に親しむことができる。屋外には事業所所有のサニー公園があり、安全に体を動かすことができる。	雨天で室外に出られない時などは特に、気分転換のためにも音楽に触れる機会を積極的に持つようになっている。もちろん晴れの日も行える。就学前にキーボードの練習を行うことで入学してから音楽の授業に抵抗が少なくなる場合もある。	室内遊びや外遊びでは子どもたちの「楽しい」が増えるように必要な道具を揃えたり色々な活動の提供をしていく。
3	外出行事や季節に応じた伝統行事やクッキング、発達に合わせた工作を取り入れるなど楽しい行事を企画・運営している。	1年を通して決まったイベントを行うことで子どもたちの成長が分かりやすく、できなかったことが出来るようになっていくことなどを称賛し自信に繋げるようにしている。月ごとに様々なイベントを企画しているため様々な経験ができる。	子どもたちが過ごしやすい環境設定をし、楽しみながら様々な経験が出来るよう企画・運営を今後も続ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所はバリアフリーではないため身体的に不自由なお子様の移動はスタッフの介助により行っている。	構造上の問題。	建物は比較的新しいので大きな段差もなく開放的ではある。できる限りの安全対策を行い安心して過ごせるように整えている。
2	色々な特性のあるお子様が利用されているので全員が参加できる活動に限られるときがある。	身体的な理由での活動の困難さが見られる場合は個別に行うことで克服している。安全の確保が第一なので経験も大切にしながら慎重に行っている。	個々に合わせた活動の提供や集団活動では介助をしながらできるだけみんなで活動できたという達成感を味わえるようにこれからも支援していく。
3			